

令和 5 年度事業報告及び
令和 6 年度事業計画について
(飯能市地域公共交通計画の評価等の結果)

令和 6 年 6 月 2 4 日

飯能市地域公共交通対策協議会

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

飯能市地域公共交通計画の評価等結果（令和5年4月～令和6年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
基本目標1に対する目標指標 指標1-1 ・実車走行距離あたり利用者数（市内全路線） 基準値1.62人/kmから 基準値以上 指標1-2 ・実車走行距離あたり利用者数（地域幹線） 基準値1.77人/kmから 基準値以上	・施策1 地域主体の利用促進事業 ・施策2 交通事業者等による利用促進事業 ・施策3 市主体のモビリティ・マネジメント ・施策4 利用者への支援制度の充実 ・施策5 担い手への支援の充実	対象となる交通事業者への照会	年間輸送人員／実車走行キロ (令和5年度) 指標1-1 ・市内全路線 1.89人/km 指標1-2 ・地域幹線 2.02人/km	・市と交通事業者が締結している運行継続のための協定に基づく補助金を継続する。 ・観光施策と連携した公共交通の利用促進事業を引き続き推進する。 ・その他、必要に応じてバス路線の見直しや運行環境の整備について検討する。	
基本目標2に対する目標指標 指標2-1 将来(10年後)の外出に不安を感じる人の割合 ・当初63% ⇒ 63%未満 指標2-2 路線バスを年間1回以上利用した割合 ・当初34% ⇒ 40%以上	・施策1 利用しやすい待合環境の整備と情報発信 ・施策2 乗継環境と道路環境の整備 ・施策3 バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の推進	市民アンケート調査	-	・公共交通の現状等について、各種事業及び市広報紙等の媒体を通して引き続き情報発信に努める。 ・市内の公共交通の路線や使いかたについて、新しく作成した「飯能市公共交通マップ」を活用し、より市民（利用者）に対してわかりやすく周知をする。 ・高等学校等の生徒等に対する通学費補助を継続するとともに、高齢者のおでかけ支援事業創設について検討を進める。	「達成状況・分析」については、令和9年度のアンケート調査を基に実施する。
基本目標3に対する目標指標 指標3-1 飯能市乗合ワゴン(精明地区・加治地区)の収支率 ・当初15.0% ⇒ 20.0% 指標3-2 公共交通利便地域の人口割合 ・当初65.2% ⇒ 現状維持	・施策1 需要と供給に対応した路線設定 ・施策2 地域資源の総動員による移動手段の確保 ・施策3 交通事業者と市のパートナーシップの継続	指標3-1 運行事業者への照会 指標3-2 国勢調査の人口メッシュデータを使用し、算出	(令和5年度) 指標3-1 ・飯能市乗合ワゴンの収支率 14.5% 指標3-2 -	・精明地区、加治地区のコミュニティバス路線については、新しい道路の開通等による路線変更を検討する。 ・社会資源の活用により、公共交通が不十分である地域における移動手段確保の検討をする。	指標3-2の「達成状況・分析」については、令和7年度実施予定の国勢調査を基に実施する。

(記載に当たっての留意事項)

- ・ 本様式中、表題の「(○年○月～○年○月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。

【基本方針】暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして ～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

基本目標1：みんなでまもり、育てる公共交通

■施策1 地域主体の利用促進事業

- お散歩マーケットの開催（春・秋）（間野黒指バス停）
（春）5/7（日）実施（小雨→雨）参加者 497人
（秋）11/19（日）実施（晴）参加者 545人
主催：お散歩マーケット実行委員会 協力：市、国際興業バス
- 名栗ふるさとまつり（ノラ名栗・さわらの湯バス停）
10/8（日）実施 会場 ノラ名栗 参加者 約2,000人
主催：名栗ふるさとまつり協賛会



■施策2 交通事業者等による利用促進事業

- バスに乗って山へお出かけ！（各バス事業者）
期間：9/30（土）から11/30（木）
共催：西東京バス、西武観光バス、国際興業バス
3社協同で秋の山間部へのお出かけを応援するキャンペーンを実施した。
- 「ヤマノススメ Next Summit」～ラッピングバス運行（国際興業）
共催：飯能商工会議所、飯能ロケーションサービス L L P
協力：国際興業株式会社、（一社）アニメツーリズム協会、飯能市
人気アニメ「ヤマノススメ Next Summit」のキャラクターが描かれたラッピングバス（4号車）の運行を3/11（月）より開始した。



○レトロバス『いすゞBU04』の再生（国際興業）

2/22（木）お披露目 「いすゞBU04」の再生・保存、各種イベント開催

○国際興業バスまつり2024春 in 飯能開催（国際興業）

実施日：2/25（日）
会場：椿木チエイン埼玉工場 駐車場内特設会場
内容：車両展示、バスに関するイベント
参加：1,563人



■施策3 市主体のモビリティ・マネジメント

○「飯能市公共交通マップ」の配布

市内公共施設、駅、観光施設で配布
転入者、運転免許返納者（飯能警察署協力）に配布



○出前講座の実施

実施日：7/22（土） 主催：菜の花グループ
第1部 13：30-15：00 中藤中郷自治会館 参加者 19人
第2部 15：30-17：15 中藤杉の木自治会館 参加者 11人



○はんのう生活祭でのモビリティマネジメント（国際興業）

日時：10/15 9：30～14：30（雨→晴）
内容：バス車両展示、運転手体験、スタンプラリー、ぬりえコーナー
イベント参加者にノベルティグッズ配布 協力：国際興業株式会社

■施策4 利用者への支援制度の充実

- 高等学校等通学費補助制度による支援 ※（ ）内前年度比
実績：交付件数 157件（+10件） 交付者数 146人（+18人）
補助金額 約944万円（+約274万円）
- 高齢者おでかけ支援制度の検討
運転免許証自主返納奨励金制度、高齢者おでかけ支援制度の検討会議開催

■施策5 担い手への支援の充実

- 飯能合同就職説明会における交通事業者の参加
2/4（日）飯能市内を運行する交通事業者1社が参加した。
- 「飯能市公共交通マップ」にバス運転士・タクシードライバー募集記事掲載
飯能市紹介欄を差し替え「バス運転士・タクシードライバー募集」記事を掲載
- 飯能自動車学校における法定講習会の開催
11/15（水）開催 NPO 法人奥武蔵グリーンリゾート 3名受講（修了）
- 「奥武蔵らくらく交通」のモビリティポートの設置
3/3日（日）西武秩父線 正丸駅前に売店「山小屋」オープン



基本目標2：みんなが使いやすい公共交通

■施策1 利用しやすい待合環境の整備と情報発信

- 飯能市乗合ワゴン（精明・加治各系統）GTFS データポジトリにデータの登録・公開
8/23～GoogleMaps 検索対応 3/13GTFS データポジトリにデータの登録・公開
- 飯能市乗合ワゴン（原市場・南高麗各系統）GTFS データポジトリにデータの登録・公開
3/12～GoogleMaps 検索対応 3/13GTFS データポジトリにデータの登録・公開
- バス停へのベンチの設置
「精明地区行政センター」、「双柳地区行政センター」バス停にベンチ設置
ガイドードリンク株式会社からベンチ2基を提供いただいた。
- バス停待合環境整備方針の策定検討
市内バス停の状況確認 継続検討



施策2 乗継環境と道路環境の整備

- 区画整理事業の進捗（双柳・笠縫・岩沢）
区画整理事業の進捗により、道路環境の整備が進んだ。
- 清川橋の開通
全面通行止めであったが、3/1 開通 国際興業 学03が約4年半ぶりに元のルートに戻った。
- 新寺バス停乗り継ぎ案内変更
県道の危険横断を減らすため、乗り継ぎの案内を変更した。



基本目標3：みんなでつくる公共交通

- 原市場地区・南高麗地区飯能市乗合ワゴンの本格運行の開始
9/1～ 本格運行開始 運行の安全上の理由により、時刻表を一部修正
沿線地区におでかけ通信等で周知（8/1～）
- 原市場地区・南高麗地区 飯能市乗合ワゴンの運行内容見直し検討
乗込調査実施（調査票受付 10/23～11/8）
おでかけ通信6号発行 12/1～
第1回地区検討会実施 11月、12月
第2回地区検討会実施（書面）3月
おでかけ通信7号発行 4/1～
- 精明地区・加治地区飯能市乗合ワゴンの一部経路変更の実施
10/1～ 一部経路変更（新田団地付近、岩沢郵便局付近）
沿線地区にチラシで周知（9/1～回覧）
- 美杉台地区西武バス自動運転バスの実証実験の実施
期間：7/12～7/21 ※地域住民等の一般向けの試乗はなし
西武バス(株)、先進モビリティ(株)、日本ペイント(株)、NEC(株)、飯能市
経路：飯能駅南口～美杉台ニュータウン(飯20) 自動運転レベル2



■施策2 地域資源の総動員による移動手段の確保

- 「飯能リハビリ館送迎車両の空席を活用した住民移送事業」実証運行
市と医療法人徳明会の協定締結により、南高麗地区において路線バスの空白時間帯に限り、川崎～小室クリニック間において実証運行を引き続き行った。

令和5年度「飯能リハビリ館移送サービス」実績

○R5.4.1～R6.3.31
運行日数：毎週火曜日 50日
利用者数：延べ62人（日平均1.24人）
登録者数：53名



■施策3 交通事業者と市のパートナーシップの継続

- 国際興業バス4路線に対する補助金の交付
地域乗合バス路線対策費補助金交付要綱に基づき、補助金を交付した。
補助金交付路線：国際興業バス 湯の沢線、名栗車庫線、名郷線、上赤沢線
- 精明地区・加治地区 飯能市乗合ワゴン「おでかけむーま号」の運行
精明地区・加治地区において運行した。

令和5年度飯能市乗合ワゴン運行実績（R5.4.1～R6.3.31）

・運行便数 1,136便
・利用者数 4,785人 便平均 **4.21人**
・精明東 1,626人 便平均 **5.73人**
・精明西 1,193人 便平均 **4.20人**
・加治 1,966人 便平均 **3.46人**



第2次飯能市地域公共交通計画 令和6年度事業計画（案）

【基本方針】暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして ～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

基本目標1 みんなでまもり、育てる公共交通 ～利用促進・意識啓発・担い手支援～			基本目標2 みんなが使いやすい公共交通 ～運行環境整備・利便性向上～			基本目標3 みんなでつくる公共交通 ～地域公共交通網のり・デザイン～		
目標指標	基準値 (R3)	目標値 (R9)	目標指標	基準値 (R4)	目標値 (R9)	目標指標	基準値 (R4)	目標値 (R9)
実車走行距離あたり利用者数 (市内全路線)	1.62 人/km (スクール路線を含む)	▶ 基準値以上	将来(10年後)の外出に不安を感じる人の割合	63%	▶ 63%未満	飯能市乗合ワゴン(精明地区・加治地区)の収支率	15.0%	▶ 20.0%
実車走行距離あたり利用者数 (地域幹線)	1.77 人/km	▶ 基準値以上	路線バスを年間1回以上利用した割合	34%	▶ 40%以上	公共交通利便地域の人口割合	65.2%	▶ 現状維持
施策1：地域主体の利用促進事業 ○地域団体による利用促進 ・地域が主体となり、公共交通を使ったイベントやスタンプラリー等を実施する。 施策2：交通事業者等による利用促進事業 ○交通事業者、市内商業施設等が連携した利用促進 ・交通事業者、市内の商業施設が連携し事業を実施する。 ・「ヤマノススメ」などを活用した利用促進事業を実施する。 施策3：市主体のモビリティ・マネジメント ○公共交通を理解してもらおう取組の実施 ・市のイベント等においてバスの乗り方教室など利用促進、意識啓発のための事業を実施する。 ・「飯能市公共交通マップ」を活用するなど、わかりやすい公共交通を目指した取組を実施する。 施策4：利用者への支援制度の充実 ○高齢者おでかけ支援制度の研究・検討 ・令和6年度から「運転免許返納者」に対する奨励策を実施(生活安全課) ・「高齢者おでかけ支援」については継続検討 ○高等学校等通学費補助制度の継続 ・引き続き制度周知をする。 施策5：担い手への支援の充実 ○公共交通空白地有償運送事業補助制度の継続 ・引き続き自家用有償旅客運送事業者を支援する。 ○市内での国交省認定講習会の開催 ・市内自動車学校で講習会を実施する。 ○担い手不足解消の検討 ・その他交通事業者等の運転士(担い手)不足解消のための取組を検討する。			施策1：利用しやすい待合環境の整備と情報発信 ○飯能市乗合ワゴン(精明・加治・原市場・南高麗)GTFSデータリポジトリの登録情報の更新 ・時刻表変更等の最新情報を更新していく。  ○飯能市乗合ワゴン「おでかけむーま号」アルプス美杉台店停留所整備 ・利用者から整備の要望が多かった「アルプス美杉台店」上り、下り停留所の舗装工事を実施する。  △アルプス美杉台店上り停留所(左) / アルプス美杉台店下り停留所(右) 施策2：乗継環境と道路環境の整備 ○飯能駅南口バス停への「はしらベンチ」設置 ・美杉台ニュータウン方面行きのバス停に「はしらベンチ」を設置する。  △飯能駅南口①番乗場(左) / 飯能駅南口②番乗場(中) / はしらベンチ(右) ○市内道路環境の整備 ・元加治駅南口開設、阿須小久保線の開通、久下六道線の整備など市内道路網の課題解決に向けた取組を推進する。 施策3：バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の推進 ○飯能市乗合ワゴン(精明・加治)のキャッシュレス決済導入検討 ・運行事業者である西武ハイヤー(株)と協議し、検討を進める。			施策1：需要と供給に対応した路線設定 ○原市場地区、南高麗地区における運行内容の変更 ・10月1日～両地区の飯能市乗合ワゴンの運行内容を変更する。 ・地域(利用者)へ運行内容の変更をわかりやすく周知する。 ○飯能市乗合ワゴン(加治)の一部経路変更 ・区画整理事業の進捗による道路環境の変化に対応するため一部経路を変更する。 ・地域(利用者)へ運行ルート、停留所の変更を周知する。 施策2：地域資源の総動員による移手段の確保 ○奥武蔵小学校スクールバス混乗制度の再検討 ・現状では、スクールバスを利用する児童が多く、空席が少ないことから児童送迎後の車両の活用など制度について再検討する。 ○送迎バス等の活用 ・飯能リハビリ館移送サービスを継続して実施する。 ・社会福祉法人名栗園による精明東部地区における移送サービス事業の実証運行を実施する。 利用状況により、運行継続を検討する。   施策3：交通事業者と市のパートナーシップの継続 ○市補助金の支出による路線の維持・確保 ・市と国際興業(株)との協定に基づき、湯の沢線、名栗車庫線等の運行に対する補助を実施する。 ○国庫補助制度等の活用による路線の維持・確保 ・原市場、南高麗地区の飯能市乗合ワゴン等を地域内フィーダー系統(国庫補助)を継続する。 ・補助事業を活用して予備車両1台取得する。		